

フェアトレードでつなぐ 手染め・手織りのラオスの布文化

“エシカル・ファッション”をキーワードに、2つめのお店「エシカル・ペネロプ」が、ナディアパーク4階「LOOP」にオープンして1ヶ月が経ちました。ナディアパークのお店では東南アジアの小国ラオスからの産品が半分を占め、特にラオスの伝統であるシルクの手織りショールをたくさん揃えています。天然素材・天然染織ですべてが手作業で織られているフェアトレードの品々です。

ラオスの染織の歴史は2千年以上あり、昔ながらの方法で織られてきた織物は人が生まれて命を終えるまで大切な役割と意味を持ちます。母が子の幸せを願って織る赤ちゃんのおくるみから始まり、成人・結婚のときには自らで衣装を織り、地域・民族の伝統を表現して人生の幸運を祈ります。ラオスの女性は、小さいころから機を織り、家の軒下には娘の数だけ機織り機があるといわれます。

女性たちは遠い昔から変わることなく「シン」という筒型のスカートをはいています。1枚の布を輪に縫い合わせ、腰にぴったりと巻きつけてはきます。多民族国家ラオスには70ともいわれる民族それぞれに個性あふれるシンが受け継がれています。高い山や深い森に守られながら独自文化を形成し、バリエーションに富んだ染織が発達したようです。庭先でもマ



色とりどりで豊富なデザインの手織りシルクのショールが並ぶラオスのお店。紡ぎ・染め・織り・刺しゅう、すべてが手仕事です

リーゴールド・ジャックフルーツ・ココナツヤシ・黒檀など染の原料となる草木が植えられ、ラオスの布の輝く生命力と深い味わいを創出しています。

しかし近年は、隣国タイやベトナムから量産品の安い布が入ってくるようになり、これまで女性が手で作っていた布製品は量産品へと変わり始めています。この状況はどこの国も逃れられない試練なのですが、これまでラオスの女性は長い歴史の目まぐるしい変化の中でも、伝統の装いを守ってきました。手仕事で作られる織物がラオスの日常から消えないでほしい、美しい自然も消えないでほしいと願います。そしてラオスの人々の豊かで平和なスローライフが続くようにと思いを込め、織物製品をフェアトレードで名古屋へつないでいけたらと思います。

最近では欧米のデザイナーたちのサポートで、伝統とモダンをマッチングし

た魅力的な織物が生産されています。海外からのデザインのプロによるアドバイスやプロデュースは大きな支援となります。海を越えてお店に並んだ品々をお客さまが手にとって喜んで買っていただくことは、ラオスの未来へと続きます。デザインの力で商品のクオリティーが上がれば、途上国の品々は広く世界へ届きます。このラオスの美しい伝統工芸品のように、途上国と世界をデザイン支援でつなげ、フェアトレードという公正な貿易で途上国や立場の弱い地域の人々の抱えている問題を解決することができたら、素敵なことですね。

お知らせ ★エシカル・ファッション&フェアトレードのセレクトショップ「エシカル・ペネロプ」は、テレビ塔のお店は現在お休み中、4月末にリニューアルオープンします。ナディアパークLOOPのお店は5月13日までの出店となります。

プロフィール……………
はらださとみ
(タレント/エシカル・コーディネーター)
フェアトレード&エシカル商品の輸入販売「エシカル・ペネロプ」代表。国際協力機構「ICA中部なごや地球ひろばオフィシャル・サポーター」、親子向けの絵本読み聞かせ「ルプ」主宰など幅広く活躍中！(勲地球環境財団エシカルJAPAN中部地区代表。エシカル・ファッション&フェアトレードのセレクトショップ「エシカル・ペネロプ」をテレビ塔1階に続きナディアパーク4階にもオープン。
<http://satomiharada.com>

